

提出
順番

No.

5

令和 2 年 2 月 20 日

午前・午後 10 時 30 分受領

令和 2 年 2 月 20 日

幕別町議会議長 寺林 俊幸 様

幕別町議会議員 谷口 和弥



一般質問通告書

次のとおり通告します。

| 質問事項 | 質問の要旨 |
|------------------------------|---|
| 1 児童虐待をなくし、子どもの健やかな成長を保障する町に | <p>昨年 8 月、平成 30 年度の児童相談所による児童虐待相談対応件数が厚生労働省から公表された。件数は 15 万 9,850 件で、前年度より 2 万 6,072 件 (19.5%) 増え、過去最多を更新した。十勝 19 市町村においては帯広児童相談所が発行した「業務概要」の平成 30 年度実績によると、帯広児童相談所が対応した児童虐待相談件数は 296 件 (前年度比 16 件増) で、2 年連続で過去最多を更新した。依然として心理的虐待が大半を占め、身体的虐待も増加傾向にあることが示された。そういう中で幕別町は児童虐待相談件数が減少するという成果を挙げていると聞く。</p> <p>幕別町における児童虐待防止対策が示されている「幕別町子ども・子育て支援事業計画」は、来年度から新たにスタートする。いっそう子どもの権利を保障し、すべての子どもの健やかな成長を支えられる町にしていくことが求められる。ついては以下の点を伺う。</p> <p>① 幕別町内での児童虐待の内容、主たる虐待者、年齢別の件数は。</p> <p>② 児童虐待相談件数が減少したことに対する評価と今後の強化すべき課題は。</p> |
| 2 町が指定する避難所の生活環境改善に向けて | <p>災害時の避難所を巡り、昨年 11 月から今年 1 月にかけて共同通信が全国自治体アンケートを実施した結果について新聞報道があった。アンケートには 1,741 全市区町村の 98% が回答に応じていて、自治体が指定する避難所の生活環境</p> |

(注) 質問の要旨は、具体的に記載すること。

| 質 問 事 項 | 質 問 の 要 旨 |
|--------------------------------|---|
| <p>3 新型コロナウイルス感染症の予防対策について</p> | <p>に関して、改善すべき点が「ある」と95%の自治体が答え、「ない」と答えたのは3%という結果が出された。劣悪さが指摘される避難所の質向上は急務との認識を示す一方で、予算やノウハウの不足から対応に苦慮している自治体が多いという。特に対応が急がれる項目としては「カーテンやテントなどによるプライバシーの確保」が最も多く、「段ボールベッドや簡易ベッド」「仮設トイレ」「冷暖房」と暮らしに欠かせない設備を望む声が上位に並んだ。また「ペットを連れた避難」についても課題に挙げる自治体が多かったという。ついては以下の点を伺う。</p> <p>① 町内の指定避難所の生活環境の課題と生活環境改善に向けた計画は。</p> <p>② 町内の指定避難所設置場所の選定の根拠は。</p> <p>昨年12月、中華人民共和国武漢市において新型コロナウイルスに関連した肺炎の患者が確認され、今年1月15日には日本においても1例目となる感染者が確認された。国は2月1日、新型コロナウイルス感染症を「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律（感染症法）」に基づく「指定感染症」及び「検疫法」に基づく「検疫感染症」に指定した。北海道では国の動きを受けて「北海道感染症危機管理対策本部（以下、本部会議とする）」を立ち上げ、感染者等の発生時の対策を強化し、感染拡大の防止に向けて取り組みを開始している。2月7日の第3回「本部会議」において「感染拡大防止対策」として、学校関係者への注意喚起や、自治体及び企業に向けて宿泊施設・飲食店・遊技場などへの注意喚起、「経済への影響対策」として中小企業対策、観光対策などの対応を決め、徹底していくとの指針を示されたところである</p> <p>しかしその後も新型コロナウイルス感染症の感染者は全国に広がっており、北海道内でも道央圏以外の地区でも発症が確認されている。感染経路が不明確なことや死亡や死亡につながる重症例も報道されており、町民からも感染に対する不安の声が上がっているところである。ついては幕別町の新型コロナウイルス感染症の予防対策について伺う。</p> |